

キャンプレポート「森の防災キャンプ」

開催日 平成28年9月10日(土)～11日(日) | 場所 神奈川県立足柄ふれあいの村

◆企画への「おもい」◆

○避難所体験や、限られた道具での野外炊事を通して、もう一度防災について考えてみよう。

◆主な活動プログラム◆

○初 日・・・復興支援経験者のお話し、段ボール居住区作り、炊き出し夕食、
アルミ缶コンロ作り、ペットボトルランタン作り

2日目・・・限られた道具を使用した野外炊事(ポリ袋を用いた調理、アルミ缶炊飯)

活動の様子



まずはゲームで仲良くなろう。



復興支援者経験者のお話し。



自分なりの防災計画を発表。



段ボール居住区作り。



テントも立ててみました！！



アルミ缶でご飯炊けるかな？



協力して野外炊事



ポリ袋を使って炊事です。



いただきますーす！！

～参加者の声～(アンケートより抜粋)

- ・他の人の意見を聞いたので良かった。
- ・避難所での生活を疑似体験出来て貴重な時間となった。
- ・限られた道具で生活に必要なものを作るのが良かった。
- ・周りも静かでよく寝れました。痛かったけれど体験出来て良かった。
- ・ポリ袋炊事は目からうろこ。

～企画担当者からのコメント～

・段ボールで作った居住区での生活。本当の被災時とは違い、電気もつくし、トイレも使える。それでも、家のベッドや、コテージとは全く違う感覚。実際の被災時にはどんな感じになるだろう？どんな備えをしておこう？私自身も考えさせられる時間になりました。